

平成29年度 第10回教育研究評議会議事要録

日 時 平成30年2月8日（木） 14：00～15：40
場 所 事務局第1会議室
出席者 三村学長，尾崎理事，太田理事，袖山理事，影山理事，佐川人文社会科学部長，生越教育学部長，折山理学部長，馬場工学部長，久留主農学部長，栗原全学教育機構長，松坂評議員，高橋評議員，田中評議員，蓮井評議員，荒川評議員，小野寺評議員，田内評議員，吉田評議員，増澤評議員，伊藤評議員，中石評議員

議 題

審議事項

- 1 教育研究評議会の評議員の変更及び学長選考会議規則第3条第1項第2号委員の選出について
- 2 平成30年度授業料免除選考基準等の改正及び成績優秀者奨学金給付制度の設置について
- 3 「茨城大学における障害のある学生のためのバリアフリー推進に関する基本方針」の策定について
- 4 入試問題の解答例等の公開について
- 5 教員の休職について
- 6 その他

報告事項

- 1 教員の人事について
- 2 平成29年度TOEIC一斉テスト実施結果について
- 3 キャンパスの禁煙化について
- 4 ファクトブックBパートについて
- 5 情報セキュリティ監査について
- 6 農学部附属フィールドサイエンス教育研究センターの改組について
- 7 平成29年度定期監査結果について
- 8 茨城大学学則及び茨城大学大学院学則の一部改正について
- 9 水戸市いっせい防災訓練への参加について
- 10 独立行政法人等非識別加工情報の提案の募集について
- 11 平成30年度一般入試、帰国子女入試及び私費外国人留学生入試の志願状況及びAO入試の実施状況について
- 12 その他

議 事 概 要

I 審議事項

- 1 教育研究評議会の評議員の変更及び学長選考会議規則第3条第1項第2号委員の選出について
学長から，審議願いたい旨の提案があり，資料1に基づき説明があり，審議の結果，提案のとおり了承された。

2 平成30年度授業料免除選考基準等の改正及び成績優秀者奨学金給付制度の設置について

学長から、審議願いたい旨の提案があり、太田理事から資料2に基づき説明があり、審議の結果、制度設置についての大枠は了承されたが、改正基準などの詳細については中央学生委員会で検討することとされた。

【主な意見】

○ 成績優秀表彰の人数と授業料免除者の今年度の実績数を教えていただきたい。

3 「茨城大学における障害のある学生のためのバリアフリー推進に関する基本方針」の策定について

学長から、審議願いたい旨の提案があり、西川執行部スタッフから資料3に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

4 入試問題の解答例等の公開について

学長から、審議願いたい旨の提案があり、資料4に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

【主な意見】

○ 公開の方法については、この解答は一例であると明記するなどの工夫が必要ではないか。

○ 点検の作業が重要になってくるため、委員が問題を解く際に作題の意図なども考慮し報告書を作成することで効率化が図れるのではないか。

○ 解答例は4月以降速やかに示すことが望ましい。

5 教員の休職について

学長から、審議願いたい旨の提案があり、馬場工学部長及び久留主農学部長から資料5に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

6 その他
なし

II 報告事項

1 教員の人事について

学長から、資料6に基づき報告があった。

2 平成29年度TOEIC一斉テスト実施結果について

栗原全学教育機構長から、資料7に基づき報告があった。

3 キャンパスの禁煙化について

袖山理事から、資料8に基づき報告があった。

4 ファクトブックBパートについて

横木大学戦略・IR室長から、資料9に基づき報告があった。併せて今後、執

行部や評議員などの関係者へガルーンにて配布することが報告された。

【主な意見】

○ コメントを作成する際には、各部局に確認するなど議論しながら作成していただきたい。

- 5 情報セキュリティ監査について
羽渕学長特別補佐から、資料10に基づき報告があった。
- 6 農学部附属フィールドサイエンス教育研究センターの改組について
久留主農学部長から、資料11に基づき報告があった。
- 7 平成29年度定期監査結果について
監査室長から、資料12に基づき報告があった。
- 8 茨城大学学則及び茨城大学大学院学則の一部改正について
総務課長から、資料13に基づき報告があった。
- 9 水戸市いっせい防災訓練への参加について
総務課長から、資料14に基づき報告があった。
- 10 独立行政法人等非識別加工情報の提案の募集について
総務課長から、資料15に基づき報告があった。
- 11 独立行政法人等非識別加工情報の提案の募集について
総務課長から、資料16に基づき報告があった。
- 12 平成30年度一般入試、帰国子女入試及び私費外国人留学生入試の志願状況及びAO入試の実施状況について
泉岡副学長から、資料17に基づき報告があった。
- 13 その他
 - ・太田理事から、平成30年度教育改革推進経費の公募について報告があった。
 - ・影山理事から、「茨城大学パートナーズフォーラム イブニングサロン」及び「茨城大学学術講演会」について報告があった。

Ⅲ 監事からの意見

- ・ 昨年の志願者数と比べると今年は515名の増となっているが、財務改善実行計画では31年度入試までに28年度の水準までにするとしており、1,089名及ばない状況。楽観せず取り組んでいただきたい。

昨年の4月7日の副学長・学長補佐会議において入学志願者獲得増加に向けた基本的な方針を5月までに定めることとし、4月13日の教育研究評議会では「29年度の重点課題・計画」の中で29年度の入試動向の分析評価に基づいた30年度入試志願者増加方針を明確化し、志願者増加に向けた取り組みを早急に実施することを学長から指示されている。さらに、方針は5月に策定し、計

画は8月にやり遂げるとの強い発言もなされている。アドミッションセンターはこのような方針をしかるべき時に学内で説明して、大学としての基本的な方針や戦略を徹底し、大学が一丸として取り組む努力が必要であったと考える。

まずは、これからの入試においてミスを出さないよう細心注意を持って臨んでいただきたい。その上で、31年度の入試に向け、今年度の入試動向の分析を踏まえた上で来年度の早い時期に基本方針や戦略を定め、大学が一致協力して入試に取り組んでいただきたい。

- ・ 志願者が昨年度より515名増えたことに少し安心したが、志願者獲得対策経費1000万円以上が新たに計上され高校訪問や進学ガイダンスの参加数を伸ばして広報活動に力を入れていることを考えると、昨年度1,604名の志願者減と比較するとまだ3割程度の回復である。今年度の動向を解析し、来年度の広報戦略を立てていただきたい。

今年度のオープンキャンパスの3キャンパスでの総参加者は9,960名と過去最高であり、高校生の本学への関心が高いことが示されているが、具体的に志願者増に繋がっていない。平成33年度の入学者選抜方法公表に向けて決定をする重要な時期を迎えているので、この要因を分析し、議論に活かしていただきたい。

現在高校ではペーパーテストだけの学力で評価をつけているわけではなく、観点別評価を実施している。調査書の取扱いについては、高校側にどのように評価を出しているのか、特別活動の記録や指導上参考になる事項をどのように記載しているのか、などを把握した上で主体性を図るものとして活用していかないと有効な選抜に繋がらないのではと危惧している。

本学は地域創生の知の拠点として、来年度にはメビウスプログラムが展開されることから、大学の目指す方向と入学者選抜の方向性を同じくすることも必要ではないか。地域貢献に意欲のある高校生をとるという方向を示すことも大学の特色に繋がるのではないか。優秀な学生をとるとともに多様な学生を受け入れる方向で議論が進むことを期待している。

IV その他

次回 教育研究評議会開催

3月7日（水） 14時00分から